

火災・救急・救助は119ばん

携帯電話からも、局番なしの**119**ばん

※ 休日当番医の問い合わせは、**42-3181**番へ！
災害の問い合わせは、**42-3000**番へ！



総務課 42-3191・予防課 42-3184
警防課 42-3183・消防課 42-3189
通信指令課 42-3181



◆ 発 行 ◆

上球磨消防組合

代 表 TEL 42-3181
東分署 TEL 47-8119

[https:// www.kmkm119.jp /](https://www.kmkm119.jp/)



写真提供：湯前町

2 ページに関連記事掲載



上球磨地域幼年消防大会開催のお知らせ

第 21 回上球磨地域幼年消防大会を開催します！



日 時 平成30年11月10日（土） 午前9時30分～午後0時30分

場 所 多良木町民体育館（雨天決行）

表彰・演舞

- ・優良幼年消防クラブ表彰
- ・通常点検披露（るり光保育園幼年消防クラブ）
- ・和太鼓演奏（消防署）

イベント体験

- ・煙体験
- ・放水体験（山林用消火器具）
- ・防火ビデオ放映

- ・ロードトレイン乗車
- ・消防車両展示

（各イベント体験は幼年消防クラブ員を優先いたします）

2年ごとに開催しているこの大会は、幼少期からの防火意識向上を目的としています。各種イベントをご用意しております。幼年消防クラブ員以外の観覧もできますので、皆様ふるってご来場ください。

★議会情報①★ 新議長就任！

平成30年4月23日開催、第1回上球磨消防組合議会臨時会において、議長に永井英治議員（あさぎり町議会選出）が就任されました。また、副議長に宇佐信行議員（多良木町議会選出）が就任されました。



議長に就任した
永井英治議員

この度、4月の臨時議会におきまして、上球磨消防組合議会議長を拝命いたしました、あさぎり町出身の永井英治でございます。浅学非才の私には余る光栄ではありますが、その責務の大きさに身の引き締まる思いでございます。

昨今の我が国の自然災害につきましては、目を覆うばかりの被災状況であります。2011年未曾有の大災害をもたらしました東日本大震災、2016年4月の熊本地震、今年になりましては、西日本豪雨災害に台風21号、また9月6日に発生しました北海道胆振東部地震と、被災されました方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、いっどこでどんな災害が起きるかわからない昨今におきましては、住民の生

命と財産を守るという観点から、常備消防と非常備消防両方の防災体制の確立と、消防力のさらなる強化に努めていかなければならないと今更ながらに強く感じておるところでございます。

現在、当消防組合におきましても、構成4町村のご理解とご協力のもとに、長年の懸案でありました消防庁舎建て替え工事が始まりまして、庁舎や訓練塔または外構工事など、2020年までにすべての工事が完了する予定でございますので、完成しました折には、職員の資質向上と併せまして、これまで以上に消防力の強化につなげてくれる事と期待をいたしております。

議会としましては構成4町村選出の7名の議員で、地域の安全と安心を守る防災体制の確立と消防力の強化に向けて取り組んでまいりますので、住民の皆様のご指導・鞭撻とご協力をお願いいたしまして就任のご挨拶いたします。

★議会情報②★ 議会選出監査委員交代

平成30年7月31日開催、第2回上球磨消防組合議会臨時会において、宇佐信行議員に代わり金子光喜議員（湯前町議会選出）が議会選出監査委員として選任されました。宇佐議員におかれましては平成28年7月より2年間監査委員として勤められました。大変お疲れ様でした。

新庁舎等建設事業進行中 安全祈願祭開催!!

平成30年8月27日（月）午前9時30分より当消防本部敷地内において、来賓及び関係者約60名にご出席いただき平成30年度上球磨消防組合消防庁舎等改築工事の安全祈願祭が行われました。

現在の庁舎は、昭和49年に建てられましたが、平成23年3月に発生した東日本大震災を受け、老朽化が進んでいた庁舎の耐震診断を行ったところ耐震不適格となったことから新庁舎を建設することとなりました。

工事は、2018年度から2020年度の3ヶ年で消防庁舎・車庫・主副訓練塔建設及び周辺外構を整備するもので、本年度は現在の庁舎北側敷地に消防庁舎・車庫建設と周辺外構整備の工事を行います。

建物は、庁舎棟が鉄筋コンクリート造2階建て延面積1,666㎡。消防本部・消防署・通信指令等の各業務を行う施設となります。車庫棟は鉄骨造平屋建て延面積は575㎡。車庫としての用途のほか、消防装備品等の備蓄機能を備える施設となります。併せて高機能通信指令台システム整備を完了し新庁舎等への機能移転は、来年の夏頃を予定しています。

当工事の設計・監理は㈱マック。施工は、味岡・丸昭建設工事共同企業体で、工事費は約7億1,800万円です。安全祈願祭では、祝詞（のりと）奏上や玉串奉てんなどを行い、工事の安全を祈願しました。



式典で、あいさつを行う
吉瀬組合長

吉瀬組合長から、「近年、国内では大規模な自然災害が頻発。これらに備えるには充実した拠点の整備と防災担当人材の育成・確保の両面の備えが肝要。今回の庁舎建設はそれらの備えの中核を担う施設となります」とあいさつがありました。

第31回 熊本県消防操法大会

平成30年9月2日（日）に山鹿市カルチャースポーツセンター第1駐車場で第31回熊本県消防操法大会が開催されました。

熊本地震の影響で4年ぶりの開催となり、管内から、ポンプ車の部に湯前町2分団1部と多良木町1分団1部が、小型ポンプの部に水上村1分団5部が出場しました。その結果、湯前町2分団1部が見事優勝し、全国大会の出場権を獲得しました。

選手の皆様、関係各位の皆様お疲れ様でした。大会結果は下記の通りです。

〈ポンプ車の部〉

- 1 位 湯前町
- 2 位 芦北町
- 3 位 多良木町

〈小型ポンプの部〉

- 1 位 御船町
- 2 位 合志町
- 3 位 菊池市

財 政 事 情 の 公 表

上球磨消防組合告示第 5 号

地方自治法第 243 条の 3 第 1 項及び上球磨消防組合財政事情の公表に関する条例の規定により、財政事情を次のとおり公表する。

平成 30 年 7 月 2 日 上球磨消防組合長 吉 瀬 浩一郎

1. 平成 29 年度歳入歳出状況（平成 29 年 4 月～平成 30 年 5 月）

(1) 歳 入

(単位：千円)

款	予算額 (A)	補正額等 (B)	合計	歳 入 済 額 (C)				差引残額 (A)+(B)-(C)	収入率 (%)
				4～9 月	10～12 月	1～5 月	計		
1. 分担金及び負担金	549,863	△ 38,307	511,556	361,995	149,361	272	511,628	△ 72	100.01%
2. 使用料及び手数料	150	0	150	139	179	111	429	△ 279	286.00%
3. 国庫支出金	1	0	1	0	0	0	0	1	0.00%
4. 県支出金	169	0	169	0	0	213	213	△ 44	126.04%
5. 財産収入	26	0	26	0	0	29	29	△ 3	111.54%
6. 寄附金	1	0	1	0	0	0	0	1	0.00%
7. 繰入金	1	0	1	0	0	0	0	1	0.00%
8. 繰越金	3,000	12,719	15,719	9,100	0	6,619	15,719	0	100.00%
9. 諸収入	6,788	0	6,788	5	30	8,878	8,913	△ 2,125	131.31%
10. 組合債	1	37,100	37,101	15,500	0	21,600	37,100	1	100.00%
歳入合計	560,000	11,512	571,512	386,739	149,570	37,722	574,031	△ 2,519	100.44%

(2) 歳 出

(単位：千円)

款	予算額 (A)	補正額等 (B)	合計	歳 出 済 額 (C)				差引残額 (A)+(B)-(C)	支出率 (%)
				4～9 月	10～12 月	1～5 月	計		
1. 議会費	635	0	635	38	21	514	573	62	90.24%
2. 総務費	26,715	0	26,715	10,277	5,310	8,857	24,444	2,271	91.50%
3. 消防費	498,070	11,541	509,611	244,120	149,094	108,454	501,668	7,943	98.44%
4. 公債費	33,510	△ 29	33,481	2,216	0	31,264	33,480	1	100.00%
5. 諸支出金	1	0	1	0	0	0	0	1	0.00%
6. 予備費	1,069	0	1,069	0	0	0	0	1,069	0.00%
歳出合計	560,000	11,512	571,512	256,651	154,425	149,089	560,165	11,347	98.01%

2. 組合の財産

種 類	数 量
土 地	上球磨消防本部消防署 8,798.400㎡ 東分署 1,698.00㎡ 江代基地局 88.00㎡
建 物	庁舎 999.29㎡ 車庫及び資料室 357.93㎡ 倉庫 54.79㎡ 東分署 251.24㎡
車 両	指揮車、ポンプ 1 号車、ポンプ 2 号車、ポンプ 3 号車(予備車)、救助工作車、救急 1 号車、救急 2 号車、救急 3 号車(予備車)、マイクロバス、資機材搬送車、事務連絡車、広報 1 号車、広報 2 号車、事務車、東ポンプ車、東救急車

3. 平成 30 年度当初予算

(1) 歳 入

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比 較
1. 分担金及び負担金	668,956	549,863	119,093
2. 使用料及び手数料	150	150	0
3. 国庫支出金	1	1	0
4. 県支出金	169	169	0
5. 財産収入	17	26	△ 9
6. 寄附金	1	1	0
7. 繰入金	1	1	0
8. 繰越金	3,000	3,000	0
9. 諸収入	105	6,788	△ 6,683
10. 組合債	960,600	1	960,599
歳入合計	1,633,000	560,000	1,073,000

(3) 町村別負担金の状況

(単位：千円)

1. 多良木町	184,376
2. 湯前町	93,470
3. 水上村	65,474
4. あさぎり町	325,436
5. 椎葉村	100
6. 西米良村	100
合 計	668,956

(2) 歳 出

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比 較
1. 議会費	568	635	△ 67
2. 総務費	25,980	26,715	△ 735
3. 消防費	1,541,328	498,070	1,043,258
4. 公債費	63,981	33,510	30,471
5. 諸支出金	1	1	0
6. 予備費	1,142	1,069	73
歳出合計	1,633,000	560,000	1,073,000

(4) 性質別経費の状況 (単位：千円)

1. 人件費	447,546
2. 物件費	92,710
3. 維持補修費	600
4. 補助費	6,573
5. 公債費	63,981
6. 積立金	7
7. 投資的経費	1,020,441
8. 予備費	1,142
合 計	1,633,000



4. 公債現在高の状況

(単位：千円)

借入先	平成29年度 末現在高	平成30年度 発行予定額	平成30年度 償還元金	平成30年度末 差引現在高(見込)
1. 全国自治協会	2,650	0	2,650	0
2. 地方公共団体金融機構	446,900	960,600	59,088	1,348,412
合 計	449,550	960,600	61,738	1,348,412

5. 一時借入金残高の状況

(単位：千円)

平成30年 5 月末日現在高	なし
----------------	----

あなたの勇気が「命」を救う 心肺蘇生法講習会 受講しませんか？

上球磨地区では、年間約1500人以上の方が救急車で搬送されています。そのうち約50人が心肺停止によるものです。しかし、119番通報をしてから救急車が到着するまで平均約8分が掛かります。そこで、そばにいる皆さんが応急手当や心肺蘇生法を行い社会復帰を目指す「命の懸け橋」として、心肺蘇生法講習会の受講をお勧めしています。



Q. 心肺蘇生法とは何ですか？

A. 呼吸と心臓が止まった人の代わりに心臓や脳に血液を送り続ける行動のことです。具体的には、**胸骨圧迫（心臓マッサージ）**と**人工呼吸**を組み合わせることです。AED（電気ショック）の効果を高めたり、心臓が動き出した後に脳の後遺症を残さないためにも重要な行動と言えます。



胸骨圧迫
(心臓マッサージ)



人工呼吸



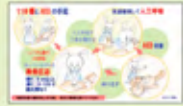
AEDによる電気ショック

上球磨消防署では心肺蘇生法 講習会の定期開催を実施中です！

- 日 程：毎月第2土曜日
- 場 所：上球磨消防署
- 講習時間：3時間（午前9時～12時）
- 受講費用：無料
- その他：3時間の全課程を修了された方には、修了証を発行しています。

修了証（例）





※10名以上受講者がいる場合は、日程などを調整して、職員を派遣することも可能です。ただし、受講場所の確保と事前連絡をお願いしています。

※また、修了証を発行できませんが3時間未満の講習も可能です。気軽に消防署までご相談下さい。

たくさんの方の受講をお待ちしております！！

お問合せ、ご相談はお近くの消防署、又は分署まで
上球磨消防署（多良木町） TEL（0966）42-3181
東分署（水上村） TEL（0966）47-8119

FAX119緊急通報装置のご案内

上球磨消防本部では、電話での119通報が困難な方のためFAXによる119通報を受付けています。

○利用方法

- ・ 火事又は救急・名前、住所、電話番号等・どうしたのか（何が燃えているのか）が記載された通報用紙を、FAXにて①①⑨をプッシュし送信して下さい。



消防本部では、FAX受信後、消防車又は救急車を出動させ、確認FAXを返信します。

※通報用紙は、当消防本部ホームページ上に掲載しています。

(<https://www.kmkm119.jp>)

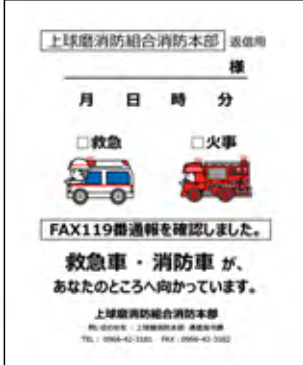
○利用可能地域

- ・ 上球磨消防本部管内
(多良木町・湯前町・水上村・あさぎり町)

【問い合わせ先】

通信指令課 代表電話：42-3181
FAX：42-3182





熊本県立多良木高等学校施設使用のお知らせ

平成 30 年 9 月から当消防本部の新庁舎建設に伴い、熊本県ヘリコプター（ドクターヘリ・消防防災ヘリ）の離着陸場として運用しておりました消防署グラウンドが使用できなくなりました。そのため、緊急時の離着陸場候補地として登録しておりました多良木高等学校陸上競技場を、代替の第 1 候補地としての使用をお願いすることとなりましたのでお知らせします。



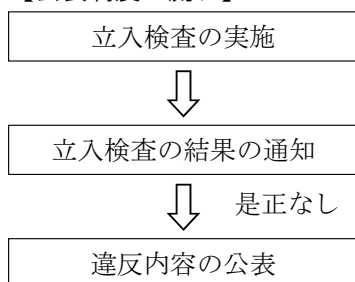
旧消防署グラウンドへのドクターヘリ着陸

新庁舎建設の施工予定期間は 2020 年 6 月頃まで、消防署グラウンドの使用実績につきましては、平成 29 年中は 13 件、平成 30 年 8 月までは 7 件のヘリ事案で使用しています。地域の皆様には大変ご迷惑をお掛けするかとありますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

違反対象物の公表制度が はじまります!!

住民の安全安心のために、2020 年 4 月 1 日から重大な消防法令違反の建物を上球磨消防組合ホームページに公表します。違反対象物の公表制度とは、飲食店、物販店など不特定多数の方が利用される建物や、病院、福祉施設など一人で避難することが難しい方が利用される建物のうち、立入検査によって重大な消防法令違反（屋内消火栓設備、スプリンクラー設備又は自動火災報知設備のいずれかの未設置）のある建物を確認した場合に、建物の情報を公表する制度のことです。

【公表制度の流れ】



公表する内容は次のとおりです。

①建物の名称 ②建物の所在地 ③違反の内容 など

すべての飲食店に 消火器の設置が義務化!!

これまで消火器具の設置は、延べ面積が 150 平方メートル以上の飲食店に義務化されていましたが、平成 28 年 12 月に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災を受け、消防法が改正され、面積にかかわらずすべての飲食店に消火器の設置が義務化されます。

（2019 年 10 月 1 日施行）

※ただし次の場合、消火器の設置は必要ありません。

延べ面積が 150 平方メートル未満の飲食店で、

- こんろ・カセットコンロ等の火を使用する設備又は器具がない場合
- 上記の設備又は器具を設置しており、防火上有効な措置（調理油加熱防止装置など）が講じられている場合

今回の消防法改正により、新たに設置した消火器は、消防法第 17 条の 3 の 3 に基づき 6 か月ごとに点検し、1 年に 1 回消防署に報告することが義務となります。

- 機器点検：6 か月に 1 回
- 点検報告：1 年に 1 回



◎詳細につきましては下記までお問い合わせください。

上球磨消防本部予防課【電話】0966-42-3184

救急医療週間 《ドクターカー運用》

平成30年9月10日から14日まで、救急医療週間イベントの一つとして、公立多良木病院の医師が救急車に同乗して救急出動するドクターカーを運用しました。これは、「地域住民の救命率の向上及び公立多良木病院との連携強化を図ること」を目的として計画したものです。

午後1時30分から午後5時までの間、救急隊（救急車）が公立多良木病院の救急外来に待機し、119番救急要請と同時に担当医師へ内容を連絡し、現場へのスムーズな出動を心掛けました。5日間で2件の救急出動と少ない件数でしたが、救急医療週間の広報活動と併せて、公立多良木病院との更なる連携強化に繋がりました。



救急外来スタッフと救急隊

消防功労者表彰報告

平成30年7月2日、上球磨消防署において藤田光恵様・西田翔様・藤田豊継様・藤川佳子様（写真左から）の4名の方に消防功労者表彰を行いました。

これは、平成30年4月21日、多良木町で発生した火災で、高校生の西田様が自宅近くの木製の塀が燃えているのを発見し、祖父母と協力して初期消火を実施し、近所の藤川様が119番通報をして迅速な消火活動を実施したものです。被害を最小限に抑えた4名の連携した行動に感服し、職員一同感謝申し上げますとともに、益々のご活躍を祈念いたします。今後も予防消防に努め、火災を未然に防ぐ取り組みをしていきます。



受賞者4名と松本消防長

九州地区消防救助技術 指導会に出場

平成30年7月21日に大分県で開催された九州地区消防救助技術指導会ロープブリッジ救出の部に1チーム出場しました。

ロープブリッジ救出は、4人（要救助者を含む）1組で編成した隊により行う連携訓練で、設定された渡過ロープにより対面する塔上に入し、要救助者を救出後脱出するまでの安全確実性と所要時間を評価するものです。

全国大会への出場はなりませんでした、この経験を活かし来年度の全国大会出場を狙います。



〈出場選手4名〉



〈大会写真〉

★新消防士誕生★



ながた こうたろう
永田 幸太郎
出身（湯前町古城）

3年ぶりに1名の消防士が採用されました。9月21日に約5ヶ月間の初任科教育を修了し、既に当本部での勤務をスタートしております。

私が消防士を志したのは、父が消防士で地元地域のために出動している姿に憧れており、生まれ育ったこの地の安全のため役に立ち、地域貢献をしたいと思ったからです。私がこれから目標とすることは、消防士としての知識、技術を現場で磨き、地域住民の信頼に応えられる消防職員になることです。消防士を志した強い気持ちを忘れず頑張りますのでよろしくお願いします。

「しょうぼう上球磨第87号」掲載の上消連放水競技大会の結果で一部誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。

- 正 小型ポンプの部
①あさぎり町消防団14分団2部 ②あさぎり町消防団13分団1部